



2 学期 (36)	第 3 節 2 次方程式と 2 次不等式  第 4 章 図形と計量 第 1 節 三角比  第 2 節 三角形への応用  課題学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2 次方程式</li> <li>・ 2 次関数のグラフと 軸 の位置関係</li> <li>・ 2 次不等式</li> <li>・ 三角比</li> <li>・ 三角比の相互関係</li> <li>・ 三角比の拡張</li> <li>・ 正弦定理</li> <li>・ 余弦定理</li> <li>・ 正弦定理と余弦定理の 応用</li> <li>・ 三角比の面積</li> <li>・ 空間図形への応用</li> <li>・ 放物線の性質</li> <li>・ 立体とそれに内接する球</li> </ul>	定期考査や小テストの成績、授業中の態度・発表、レポート等各種提出物、振り返りシートなどから総合的に判断し、評価する。  レポート
	3 学期 (30)	第 5 章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データの整理</li> <li>・ データの代表値</li> <li>・ データの散らばりと四分位数</li> <li>・ 分散と標準偏差</li> <li>・ 2 つの変量間の関係</li> <li>・ 仮説検定の考え方</li> </ul>

計 96 時間 (55 分授業)

評価規準と 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけようとしている。	命題の条件や結論に着目し、数と式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりしている。 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察している。 社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決過程や結果を批判的に考察し判断したりしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
[評価方法] ・ 定期考査や小テストの成績 ・ レポート等各種提出物 総合的に判断し、達成率が 80%以上を A、79~50%を B、50%未満を C と評価する。	[評価方法] ・ 定期考査や小テストの成績 ・ レポート等各種提出物 総合的に判断し、達成率が 80%以上を A、79~50%を B、50%未満を C と評価する。	[評価方法] ・ 授業中の態度・発表 ・ レポート等各種提出物 総合的に判断し、達成率が 80%以上を A、79~50%を B、50%未満を C と評価する。	